改善箇所説明図



基準不適合発生箇所

電気配線の配索設計が不適切なため、メインハーネスとアンチロックブレーキシステム(ABS)モジュレータが干渉しているものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、メインハーネスの被覆が損傷し、損傷箇所からABSモジュレータに電流が流れて当該モジュレータ内部のコントロールユニットが破損してしまいABS警告灯が点灯して、ABSが作動しないおそれがある。

<u>改善の内容</u>: 全車両メインハーネスを点検し、損傷がない場合は、メインハーネスをシートフレームに 固定する。損傷がある場合は、さらにABSモジュレータを点検し、異常が認められる場 合は、当該モジュレータを良品と交換したうえでメインハーネスを修理し、シートフレーム に固定する。

注: は点検部品を示す。